JA通信 Public Relations Magazine

ふるさと

4

vol.216
2016

ＪＡ秋田ふるさとは、新たな期待を創造します。

【特 集】

臨時総代会　全議案原案通り可決
振興計画と３ヵ年計画で描く未来

いいねをいっぱい届けたい

JA秋田ふるさと

新企画のお知らせ

今月号より新企画「みんなの写真展」が始まります。管内にお住まいの方からの写真を募集しご紹介いたします。テーマは、ＪＡらしく①農に関する行事やその暮らしと②管内の風景とします。年度末にコンテストを行い表彰いたします。副賞もございますので、本誌 19 頁に記載の応募方法をご確認の上、応募ください。たくさんの応募、心よりお待ちしております！

▼昨年の６月、田植えをしたばかりの水田に鳥海山が写り込んだ「逆さ富士」の写真です。秋田富士とも言われる鳥海山の雄大さは、多くの学校の校歌に用いられるほどすばらしく、格好の被写体です。

▲昨年の９月、ＪＡ子育て支援センター「りんごちゃんひろば」の利用者親子が、増田地区でりんご狩りを体験しました。ママに抱っこされて、真っ赤なりんごを収穫しようと一生懸命な子どもの様子に、エールをおくりたくなります。

JA通信
ふるさと

April
4
2016

CONTENTS

02　新企画のお知らせ
03　もくじ/表紙紹介
04　【特集】
臨時総代会
振興計画と3カ年計画で描く未来
08　ニュース＆トピックス
12　営農ワンポイントアドバイス
13　地元の高校生が行く！
突撃！アグリリポート
14　平成28年度
新採用職員の紹介
16　レシピ
17　健康情報
18　ふるさとサロン
20　バラエティコーナー
22　インフォメーション
24　ふるさとの民話
JAの概況

表紙紹介

「表紙」の男の子
佐々木　開正（かいせい）くん（増田・1歳《11月21日生まれ》）

両親（父：正人さん　母:美智子さん）と祖父母との５人家族の開正くん。祖父母のつくったリンゴが大好き。開正くんの名前には、「自分で決めたことに対して正しい道を切り開いていってほしい」という両親の願いが込められています。最近は自由に歩けるようになって、お外に出かけることを楽しみにしています。ゾウさんやキリンさん、トリさんなどの動物が大好きな開正くん。家族で動物園に行くことを心待ちにしています。

生まれてはじめて触ったアスパラガスに興味津々。大きくなったらいっぱい食べてね！

「旬」な野菜
アスパラガス

主成分でアミノ酸の一種である「アスパラギン酸」には、新陳代謝を促すとともに、たんぱく質の合成を高める効果があり、疲労回復やダイエットに効果的。また、アスパラガスの穂先部分には「ルチン」という成分が含まれており、血管を丈夫にするため、高血圧や動脈硬化の予防効果もあるとされています。当ＪＡ管内では、ハウスを活用した促成栽培や半促成栽培、また露地栽培などによって、長期にわたって安定的に生産しています。アスパラ部会は、部会員数144名。約36ヘクタール（2015年11月現在）で栽培しており、4月から10月頃まで生産しています。

（ＪＡ秋田ふるさとＨＰより抜粋）

総合力を発揮し農協事業全体を利用しやすく進化させる

臨時総代会

～全議案原案通り可決～

信頼という評価により、選ばれ続けるＪＡへ

３月30日、ＪＡ秋田ふるさと臨時総代会を秋田ふるさと村ドーム劇場で開き、各地区から選出された総代５９３人のうち５０９人（本人出席４２６人、委任状６人、書面出席77人）が出席しました。

議案審議に先立ち、執行部一任により議長に須藤茂美氏（大雄地区）が選任され、議事を進行。結果、上程された5議案と附帯決議がいずれも原案通り可決、承認されました。

小田嶋契組合長は所信の中で、「ＴＰＰ大筋合意や改正農協法施行など、不安になるような話題の中でも、平成30年に予定されている生産調整の大幅な見直しは一番注視しなければならない。需要に応じた産地セールスの向上を高めて、平成30年まで販売額強化のために〝**質と量**〟を安定させて安定供給していく体制を引き続き進めていく」と強調しました。

主題となる「平成28年度事業計画」については、今年度の指針と具体的取り組み事項を説明しました。３ヵ年計画の初年度となる28年度は、さまざまな情勢変化に合わせながら、組合員や地域住民の生活そのものを事業領域とし、総合事業を通じて正面から取り組み、**信頼という評価によって、選ばれ続けるＪＡとしてその役割を果たすこと**を目的としています。そして事業を展開するためにＪＡに課せられた使命と目標を「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」と明確化しました。

基本目標については、**①担い手と多様な農業者による地域農業づくりの実践　②農畜産物の生産・販売拡大に向けた改革の実践　③生産資材事業改革によるコスト低減の実践　④地域に密着した協同活動の取組強化　⑤強固で盤石な財務基盤の確立　⑥組合員の意思反映・運営参画の推進**としています。

※詳細につきましては、３月に配布いたしました「臨時総代会資料」をご覧ください。

臨時総代会提出議案（可決・承認）

第１号議案　第19年度（平成28年度）事業計画の策定の件

第２号議案　平成28年度経費の賦課金額、賦課の方法、徴収時期及び徴収方法の決定の件
１．賦課金額　　47,616千円
２．賦課の方法
賦課の方法は、平成28年７月１日現在において次の基準により賦課する。
正組合員　　１戸当たり　　1,200円
耕作面積割（水田、畑、果樹畑含む）　10ａ当たり　　200円
３．徴収時期　　平成28年７月29日まで徴収する。
４．徴収方法　　賦課金通知書により本組合に納付すること。

第３号議案　平成28年度理事及び監事の報酬に関する件
１．平成28年度における理事の報酬は総額52,428千円とし、各理事の報酬額についてはその範囲内において理事会に一任する。
２．平成28年度における監事の報酬は総額13,914千円とし、各監事の報酬額についてはその範囲内において監事会に一任する。

第４号議案　地域農業振興計画並びに経営３カ年計画(平成28年度から平成30年度)の件
「地域農業振興計画」並びに「経営３カ年計画」のご承認をお願いするものです。

第５号議案　信用事業規程の一部変更の件

附帯決議　年度途中で、事業計画の一部について軽微な変更を要するに至ったときは、理事会で計画の変更ができることを承認する。

▲各議案に対して活発な質問があった

▲議長を務めた須藤茂美氏（大雄地区）

▲全議案原案通り可決した

▲小田嶋契組合長

【特集】

振興計画と3ヵ年計画で描く未来

メインテーマ　JA秋田ふるさとは

新たな期待を創造します。

3月30日、JA秋田ふるさと臨時総代会を秋田ふるさと村ドーム劇場で開き、「地域農業振興計画」と「経営3ヵ年計画」について可決・承認されました。

この2つの計画は、JAの組織活動そして地域農業の展望を描く〝重要な指針〟です。農業経営を維持・発展させるため多様な生産者ニーズに対応しつつ、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を達成させていく――。

今回、これらの2つの計画について、取り組みポイントを整理しお伝えします。

メインテーマは「新たな期待を創造します。」

JAが組合員の期待に応えることは、各事業を行う上で最低限の基準と考えられます。役職員一同がJAを利用するすべての皆さまの期待をいつも上回ろうという姿勢を継続し、期待を超える価値を創造していくために、メインテーマを「新たな期待を創造します。」と掲げ、これからの3年間、JA秋田ふるさとの役割である「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を果たしてまいります。

地域農業振興計画

H28－30年度

【基本方針】

生産農家が将来に向けて安心かつ意欲的に農業生産に勤しむ「持続可能な農業の実現」、「次代につなぐ農業」の確立に向けた仕組み・指針づくりとその実践

将来ビジョン

1. 秋田県随一の農産物複合地帯であるという産地特性を活かし、更なる生産力の向上による信頼の「質」と力の「量」を併せ持つ産地づくりを実現
2. 確固たる産地づくりによる農業所得の向上、農家生活の豊かさや地域の活性化に向け、この農業振興計画を基本に積極的な取り組みを実施

重点実施事項

①担い手と多様な農業者による地域農業づくりの実践
②農畜産物の生産・販売拡大に向けた改革の実践
③生産資材事業改革によるコスト低減の実践

経営３ヵ年計画

H28－30年度

Ⅰ　心豊かに安心して暮らせる地域社会の実現

1. 地域に密着した協同活動の取組強化

①くらしの活動の計画化と実践
②食農教育活動の推進
③女性の活躍支援
④地域に根ざした協同組合としての機能発揮

2. 総合的なＪＡ高齢者福祉事業・活動の展開

①ＪＡ健康寿命１００歳プロジェクトの取り組み
②介護保険事業の展開
③ＪＡ生活支援事業の実施と地域支援事業の受託促進

Ⅱ　財務基盤強化と組合員参画による組織基盤の確立

1. 強固で盤石な財務基盤の確立

①収益の安定化に向けたリスク管理の強化
②財務基盤の強化
③ＪＡ組織再編の推進
④事業別実践方策
⑤改革を担う人材の育成

2. 組合員の意思反映・運営参画の推進

①組合員のメンバーシップの強化
②「支店を拠点にした協同活動」の実践
③組合運営への意思反映の推進
④「食」「農」「ＪＡ」の理解醸成に向けた広報事業の展開
⑤女性のＪＡ運営参画の推進

News & Topics ニュース&トピックス April 2016

今月の組合員のみなさんの活動やＪＡの行事を、写真と記事で振り返ります。

▲式典であいさつを述べる小松髙義部会長

大雄採種圃部会40周年記念式典
さらなる優良種子生産をめざして前進誓う

大雄採種圃部会は3月26日、部会設立40周年記念式典をゆとりおん大雄で開き、部会員はじめ秋田県産米改良協会など36人が出席しました。同部会は、1976年に旧大雄村農協が優良種子の安定的生産供給と円滑な流通を図ることを目的として設立。これまで県産米の品質向上に寄与してきました。式典で小松髙義部会長は「近年、米をめぐる環境は一層厳しくなり産地間競争が激化している。今後は消費者ニーズにマッチした米生産のため優良種子の安定生産に力を尽くしたい」とあいさつ。また、来賓として木村一男秋田県産米改良協会会長が、「部会の研修会には部会員全員が参加し、日頃の活動を基本としている。部会で培った一体感を大切に一層の活躍を期待する」と祝辞を述べました。

▲初代部会長の小松田丈右衛門氏（代理）（上写真）と二代目部会長の奥山和栄氏へ感謝状が贈呈された

求められる米・産地づくり推進大会
ふるさとecoらいす 米卸高評価、継続を希望

ＪＡ秋田ふるさとは３月10日、横手セントラルホテルで「求められる米・産地づくり推進大会」を開き、県や米卸、生産者など230人が参加しました。同大会では、27年産米の集荷と品質状況や28年度の取り組み方針、産地求評会の報告などが行われました。このうち、産地求評会報告では取引先卸を代表して㈱ヤマタネの山﨑元裕代表取締役社長が「ふるさと産米は品質が非常に良く、高く評価している。精米時の歩留まりも良好。『ふるさとｅｃｏらいす』という環境に配慮した米づくりは、消費者にストーリー性をアピールし販売しやすい。今後も継続してほしい」と話しました。ＪＡでは今年度、新たに稲作専任指導班を編成し、出向く営農指導を実施します。

▲同日行った産地求評会（米卸と全農あきたがＪＡ産米を講評し意見交換をする場）

▲大会に先立ち行った「食味向上コンテスト」で、最優秀賞を受賞した十文字地区の皆川義夫さん（中央）

▲出向く営農指導に特化した生産指導班を設置して、販売額68億円を目指すことを確認した

▲農業所得の安定確保のため園芸作物生産振興に向けた取り組みを確認する生産者

園芸生産者大会
販売額68億2500万円 過去最高を記録

ＪＡ秋田ふるさとは３月８日、横手セントラルホテルで「園芸生産者大会」を開き、全国19の取引市場担当者や生産者など200人が参加しました。昨年度の園芸果樹の全般的な生産は、期間を通じて安定した好天に恵まれ、病害の発生も少なく長期高品質生産となり、販売面でも安定した販売価格で推移した結果、全ての主力品目の販売額が前年を上回りました。同大会では、３月末の販売額が68億2500万円と過去最高を記録することが確実となったことなどを報告。市場担当者からは「品質は高い評価を受けているので、生産量を増やして市場へ送って欲しい。天候に左右されない計画的出荷をお願いする」という要請がありました。これを受けＪＡでは今年度、さらなる園芸振興に向けた取り組みを強化します。

りんご販売実績検討会
雪害からの回復の兆し 2度の風害も出荷量25%増

りんご部会は３月14日、本店シャイニーパレスで販売実績検討会を開き、県や市場担当者、部会員など30人が参加しました。2015年度のリンゴの集荷および販売実績の報告と16年度の有利販売に向けた取り組みなどについて協議しました。15年度は出荷量4900㌧（前年比25%増）、販売額９億1200万円（同比19%増）と報告。主力品種「ふじ」では、生育期間も比較的好天に恵まれ肥大や着色ともに良好に推移。10月上旬の２度にわたる強風によって11%が落果し、樹上に残った果実もキズ果の割合が高くなりましたが、出荷量は前年を大きく上回り、2000㌧（同比12%増）となりました。佐藤貢部会長は「ふるさと産のリンゴを待っている消費者のためにも、高品質生産に取り組もう」と呼び掛けました。

▲今年度は販売額10億円を目指すことを確認した

▲佐藤貢部会長がキズ果の特別販売への対応を感謝した

▲販売額1億円達成を呼び掛ける奥山和栄部会長

▲栽培の課題を確認する部会員ら

ねぎ部会通常総会・実績検討会
１億円達成を掲げ 品質と価格の向上へ

ねぎ部会は３月15日、通常総会と販売実績検討会を平鹿支店で開き、部会員や市場担当など46人が参加しました。同部会では15年の干ばつの影響で出荷に遅れが生じて出荷量337㌧（前年度比96%）と落ち込んだものの、10月以降天候が回復し、防除など管理体制を徹底したことにより全国的に細物が多い傾向の中で、当ＪＡ産は２Lの太物を確保。その結果として、販売額8500万円（同124%）を記録。１㌔平均単価も229円（同129%）と前年を大きく上回りました。一方、15年度は高温による葉の病気が目立ったことから、品種の選定も合わせながら対策を講じることなどを確認。今年度は、販売額１億円の達成を目標に掲げました。奥山和栄部会長は「天候に左右されることなく品質や価格の高いネギを生産していこう」と呼び掛けました。

2016全日本男子バレーボール
産品贈呈で選手を激励
オリンピック出場へ

ＪＡ秋田ふるさとは３月19日、横手市で合宿中の全日本男子バレーボールチーム（龍神ＮＩＰＰＯＮ）へ、横手市と合同で５月28日から始まる「リオデジャネイロオリンピック世界最終予選兼アジア大陸予選大会（東京体育館）」での健闘を祈念し、管内で生産された米「あきたこまち」220㌔と「りんごジュース」220パックなどの産品を贈呈しました。贈呈式の会場となった横手体育館には、全日本のバレーボール教室へ参加する小中学生や交流会に参加するファンなど300人が集まりました。その大勢が見守る中、当ＪＡ皆方均常勤監事がチームを代表して米山裕太選手に目録を贈呈すると、会場からは選手への激励の拍手が送られました。

▲贈呈式で当ＪＡ皆方常勤監事（右）が米山裕太選手（左）に目録を贈呈した

▲小中学生を対象としたバレーボール教室が開催され、南部正司監督（中央）も直接指導していた

▲昆布と削り節をたっぷり使って作った水だし（右）はゆっくりうま味を抽出するので雑味のない上品な味わい

▲減塩料理に挑戦する会員をサポートする田村さん（右）

健康推進協議会料理講習
だし汁で手軽に減塩
減塩レシピ４品に挑戦

ＪＡ秋田ふるさと健康推進協議会は３月８日、推進料理講習を横手支店で開き25人の会員が参加しました。平鹿総合病院保健福祉活動室の田村早希管理栄養士を講師に招いて、減塩料理の講習のほか、調理実習も行いました。講習では、塩分を控えるために料理に〝だし汁〟を使うことを奨め、そのポイントを指導。そのほかにかつお節や香味、酸味の利用で手軽に減塩をする工夫などを紹介しました。調理実習では、減塩レシピ４品の調理に挑戦し、このうち「きのこと根菜のお味噌汁」では、だし汁を使って具材を多くすることで自然と減塩になることを説明し、田村さんは「ご家庭のいつもの味噌汁に、具材をもう１つ加えることから減塩を始めよう」と呼び掛けました。

四季の営農
ワンポイント
アドバイス
【果樹指導】

生育が非常に早いので遅れないように作業準備を！

【指導員】　園芸果樹課　大和屋　尚享

今年度は、平年以上の気温で推移していることから、生育が非常に早まっています。今後行っていただきたい作業を挙げますので、計画的に作業を進め、高品質生産に努めましょう。

◆園地の土壌改良

管内の果樹園では、土壌の酸性化が進んでいる傾向にあります。酸性化が進むと生育不良へとつながり、品質低下を引き起こします。

樹種により生育に適正なpH（土壌の酸性やアルカリ性を示す指針）が異なりますので、土壌分析を実施した上で、適正な土壌状態にしましょう。

樹種別好適pH	
りんご	5.0～6.0
ぶどう	5.0～7.0
もも	5.0～6.0
おうとう	5.0～6.0

◆定植後の苗木管理

苗木の管理で最も重要なポイントは潅水（かんすい）です。定植後の苗木は新梢（しんしょう）が伸長し、水分を求めて根を伸ばします。土壌の乾燥は苗木の生育に大きな影響を与えますので、園地状況を確認しながら適宜潅水を行い（1本あたり10～20リットル位）、苗木の生育を助けましょう。

◆人工授粉の実施

訪花昆虫のみに頼った授粉環境では、天候に影響を受けやすいというデメリットがあります。人工授粉の実施で、確実な結実量の確保と大玉生産に努めましょう。

手作業による人工授粉

花粉精製のための開葯（かいやく）施設を設置している選果場（栄、醍醐、金麓園、増田）をぜひご活用ください。開葯施設の使用手順も備え付けてありますので、初めての方も簡単に使用出来るようになっています。開花直前のバルーン状の花が、花粉をとるには最も適しています。なるべく乾いた状態で持ってくるようにしてください。消雪の関係から下枝の開花は上枝よりやや遅れますが、開花の遅れた下枝だけに人工授粉を実施するだけでも全体の秀品率が大きく向上します。

開葯施設を利用している様子

バルーン状の花

◆りんご早期摘果の実施

大玉生産と翌年の良質な花芽形成を促すために、満開後30日をめどに荒摘果を終了し、早期に適正な着果量となるように作業を進めましょう。作業が遅れる場合、摘果剤を活用し適期に摘果作業を実施しましょう。

◆◇◆

授粉可能な期間は短く、大変な手間と労力がかかりますが、効果は絶大ですので、できる範囲で行いましょう。

地元の高校生が行く！突撃！アグリリポート 110時間目

今月のお題

家庭クラブの東北大会での活動を思いや感動とともにリポート

東北大会の運営を成功させることができました！

雄物川高校 3年 小松千尋さん

3年 後藤可南子さん

昨年12月、横手市民会館を会場に「東北ブロック高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会」が開催されました。雄物川高校家庭クラブを始め、県南地区の家庭クラブ員が運営し、大会を成功させることができました。

この大会は、東北各県を勝ち抜いた代表者の大会で、クラブ単位で研究する「家庭クラブの部」と個人研究の「ホームプロジェクトの部」があります。最も優秀な研究は、夏に開催される全国大会へ出場することができ、昨年は横手清陵学院高校が全国大会に出場しました。今回の東北大会も、どの研究も家庭科という幅広い分野をそれぞれが研究していました。特に私たちの印象に残っている発表は、山形県立谷地高校で、認知症のひぃおばあちゃんと話せるようにと、高齢者への絵本の読み聞かせに関する研究でした。そのほかにも地域活性のための商品開発や地域交流、家族の健康のためのレシピの考案など興味深い研究がたくさんあり、今後の活動に活かしていきたいと思いました。

研究発表後にはアトラクションとして、羽後高校郷土芸能部のみなさんに西馬音内盆踊りを披露していただきました。私たちは初めて見ましたが、地元の伝統を受け継いでいる姿に圧倒されました。

この大会では、クラブ員同士で感動し合ったり、生活をよりよくしようとする活動に関わることができ、とても嬉しく思いました。この経験を家庭クラブの今後の活動に活かしていきたいと思います。

①

②

③

④

①第63回東北ブロック高等学校家庭クラブ連盟総会
②研究発表の１場面　③各校の展示もブースも魅力的だった　④羽後高校郷土芸能部による西馬音内盆踊り

職員の紹介

ため、誠心誠意努めてまいりますので、どうかよろしくお願いします!

小野　つかさ
共済業務課
（秋田市）

大久保　篤
融資推進課
（千葉県）

佐々木　美紀
総務課
（十文字）

田口　諒
人事課
（大仙市）

上田　大輔
横手支店
（大森）

加藤　卓
横手支店
（横手）

大類　直人
農業機械課
（増田）

佐藤　志保
園芸果樹課
（湯沢市）

照井　悠夏
大雄支店
（美郷町）

髙橋　愛季
雄物川支店
（横手）

松川　雪子
平鹿支店
（横手）

石橋　琴美
平鹿支店
（雄物川）

平成28年度 新採用

今年度、新採用職員を20名採用いたしました。組合員の氏名・配属先・出身地区で記載しております。

土田　健太郎
横手営農センター
（美郷町）

大山　慎二
横手営農センター
（横手）

遠藤　未来
増田支店
（増田）

佐藤　真優
十文字支店
（十文字）

佐藤　龍太郎
十文字営農センター
（平鹿）

皆川　由樹
雄物川営農センター
（雄物川）

小玉　祐樹
雄物川営農センター
（大雄）

佐藤　貴博
平鹿営農センター
（平鹿）

▲ＪＡ秋田ふるさと役職員大会で元気いっぱい自己紹介をする新採用職員の皆さん（３月19日、増田ふれあいプラザ）

レシピ

今月は

タマネギ

原産地は、中央アジアでネギ科に分類されます。タマネギは、外側の薄皮の色によって黄タマネギ・赤タマネギ・白タマネギに分かれます。

日本では辛みが強い黄タマネギが主流で、皮が白っぽい新タマネギは黄タマネギの早採りのタマネギ。最近では、赤系のタマネギも見られるようになりました。タマネギの辛味と匂いは、アリシンと硫化アリルによるものです。生では辛みが強く感じられますが、加熱すると辛味成分が分解され、甘味が出てきます。アリシンは、ビタミンB1の吸収をサポートし、新陳代謝を活発にする働きがあります。また、血液をサラサラにして血栓をできにくくするため、動脈硬化や脳梗塞の予防にもよいとされています。

【新タマネギ】

秋植えのタマネギの中で、春先に早採りして出荷したもの。辛味が少なく、生食にも向いています。

我が家自慢の
レシピを伝授！

【　サラダ寒天　】

レシピの紹介者

【大森地区】
赤川秀子さん

● 材料

- タマネギ／小半分
- キュウリ／2本
- ニンジン／小1本
- ゆで卵／5個
- 缶詰ミカン／半缶
- マヨネーズ／400g
- 塩／適量

【A】
- 棒寒天／3本
- 水／800cc
- 砂糖／200ｇ

①タマネギ、キュウリ、ニンジンを細かくきざみ、塩もみして水洗いしたあとに水分を切る
②①に細かくしたゆで卵とミカンを加え、マヨネーズで和えてサラダにする
③鍋で【A】の材料を煮たてて、熱いうちに②と混ぜる
④寒天バッドに流し込み、常温で冷まし、冷蔵庫で一晩冷やせば完成

タマネギ入り！
シャキッと野菜の食感が楽しめる

赤川さんのサラダ寒天の特徴は、一般的なサラダ寒天には使わないタマネギを使っていること！タマネギを入れることによって味に深みが出るだけでなくシャキシャキした食感を楽しむことができるそうです。「サラダ」というからには野菜をたっぷり使うというのが赤川さん流。キュウリは薄く輪切りに、ニンジンは細切り、ゆで卵は固ゆで粗みじん切りにしています。みかんの代わりに、パインやモモでもOK！アレンジの幅が広がりそうです。お茶のお供にいかがでしょうか？

健康情報

研究からみる口腔内の現状

ひらか歯科医師会（平鹿）
ノレーブ歯科クリニック　山野　浩樹

今回は、歯科の分野で行われている研究についてお話しします。

高齢者の残存歯数は年々増加傾向にあり、80歳で平均して14本の歯が残存しています。65歳以上の日本人２万人以上を対象とした調査では、残った歯の数が少ない人ほど寿命が短くなることが明らかになりました。死亡率は、20歯以上の人に比べて、10～19歯の人で1.3倍、０～９歯の人で1.7倍に上昇しました。また、歯を失い、入れ歯を使用していない場合、歯が20歯以上残っている人や入れ歯によりかみ合わせが回復している人と比較して、認知症の発症リスクが最大1.9倍に上昇することが分かりました。また、保有する歯が19歯以下の人は、20歯以上の人と比較して要介護認定を受ける割合が1.2倍に上昇し、要介護状態になる危険性も歯が多い人ほど少ないことが分かりました。

虚血性心疾患については、歯周病に罹患していると、発症リスクが1.14～1.75倍に高まることが示されました。また、糖尿病は歯周病と密接に関連しており、歯周病を治療することで、血糖コントロールが改善した例が報告されています。高齢の女性に多くみられる骨粗鬆症については、歯周病になった歯肉で産生される毒素に骨代謝に影響を及ぼすものがあり、歯周病に罹患すると、骨が急速に吸収され、症状が進行しやすくなるおそれがあるといわれています。

参考文献：健康長寿社会に寄与する歯科医療・口腔保健のエビデンス 2015（日本歯科医師会）

今回登場してくれたのは、
雄物川、横手地区のみなさんです。

ふるさと サロン
furusato salon
ＪＡを支えてくれているみなさんのページ

キラリ★

管内で農業や農に携わる若手をご紹介します。

【雄物川】　佐藤　保さん（34）

農業から地域を活性化させたい

秋田県立大学を卒業後、すぐに就農した保さん。JA青年部で雄物川支部長を務め、現在、稲作3.5ヘクタール、スイカ１ヘクタールを営農しています。スイカづくりの難しさはどの段階においても天候に左右されるところで、生育の見極めを先輩である父親に教わりながら日々農作業に勤しみます。青年部として主に小学生に対して農作業体験や食育などの活動を毎年行っており、「小学生から手紙を貰うことが励みになっている」と話します。「周辺の農業が疲弊しているので耕作放棄地を利用して農産物の加工ができる場所作りをしたい」と語る保さん。「農業を通じて地域を活性化し、地元に愛着を持つ人が増えてほしい」と、未来を見据えています。

「まめ」なひと

元気なお年寄りをご紹介します。

【横手】　伊藤　タマさん（85）

人と会ってたくさん笑うことが大切

16歳の時、山内村から羽根山地区へ嫁いできたタマさん。夫の哲朗さんと観光ぶどう園の立ち上げに携わり、5年前まで果樹専業農家としてブドウやリンゴの栽培をしてきました。当時より農協婦人部の活動に積極的に参加。婦人学級で手芸や着付けなどの講師としても活躍し、「自分の勉強の場にもなっていた」と語ります。50代から本格的に始めた新舞踊を究め、毎日の腹筋と手足の運動が健康の秘訣だというタマさん。「きょうよう」と「きょういく」を大切にしています。その心は「今日用」事がある、「今日行く」ところがあるということ。人とたくさん話をして笑い合うことが長生きの源だそうです。

みんなの写真展

読者投稿型企画
写真募集

管内の風景などの写真を募集します！

◇期　間　2016年４月～2017年３月10日まで
◇部　門　＜農に関する行事やその暮らし＞
各地の農村行事や農作業の様子、またそれに係わる人々の表情などを募ります。
＜管内の風景＞
四季折々の美しい風景や厳しい自然の様子などを募ります。
◇規　定　応募作品は未発表のものとします。人物の肖像権など被写体に関する権利を尊重し、応募者の責任で了解を得てください。また、応募作品は今後の広報（掲載・紹介）で使用させていただく場合があります。なお、作品はお返しいたしませんのでご了承ください。いただいた個人情報につきましては本誌の編集以外には一切使用いたしません。
◇応　募　２Ｌ以上の大きさのプリントまたは当ＪＡホームページ（http://www.akita-furusato.or.jp/）からデジタルデータで応募ください。①氏名②年齢③郵便番号④住所⑤電話番号⑥撮影地と内容などを明記してください。
◇送り先　〒013-0036　横手市駅前町6-22
ＪＡ秋田ふるさと　総務課　広報担当

例　Ｔ・Ｋさん 十文字町植田地区　メガファーム

例　Ｔ・Ｋさん 増田高校　児童が稲刈りを体験

コンテストは年度末に実施予定！

組合長賞（1人）	副賞・商品券３万円分
専務賞　（2人）	副賞・商品券１万円分
広報担当賞（若干名）	副賞・商品券５千円分

スクール

管内小学校の食と農をご紹介します。

横手市立黒川小学校
１年生　９人のみなさん
校長：酒井　浩 先生

141年の歴史に幕、新生活に期待！

黒川小学校は、３月に141年の歴史に幕を下ろしました。同小では、これまで2408人の児童が卒業。昨年度は６年生４人が卒業し、在校生43人は新設された横手市立北小学校で新たな学校生活を始めています。取材をした３月中旬、この日の給食のメインは野菜がごろごろ入ったミートローフ。児童たちは好き嫌いがほとんどなく、中には給食を１年間残したことがないという子も。２年生になってからは「縄跳びをがんばりたい」「跳び箱を８段跳べるようになりたい」などと笑顔で目標を話してくれました。北小でもお友だちがいっぱいできるといいですね。

わたしの川柳

今月のテーマ：『新』

●今月の最優秀作品

「挑戦」へ
夢が膨らむ
新年度

小川　正雄さん（十文字）

●優秀作品

孫に聞き
最新機器を
操作する

佐々木　秀和さん（山内）

新鮮な
春だ出番の
ネジを巻く

P.Nひまつぶしさん（雄物川）

爺婆（じいばあ）の
心のこもった
ランドセル

P・N家守さん（十文字）

病みあがり
生きる希望の
新芽かな

佐々木　幸一郎さん（大森）

応募作品数…15作品

■新年度を迎えるときの気持ちが端的に表現され期待と同時に身が引き締まる、そんな思いを感じさせます。

楽しい川柳作品をお待ちしております。最優秀作品には、素敵な記念品を進呈！
【５月号のテーマ】「休」【応募方法】ハガキに川柳作品（パズルにご応募の方はその答えも）のほか、次頁下段の応募方法①～⑥をご記入の上、ご応募ください【応募先】〒013-0036 横手市駅前町6-22 総務課　広報担当【応募締切】４月25日㈪必着
＜作品をご応募いただく皆さまへ＞　掲載された作品を横手かまくらＦＭにおいて随時ご紹介させていただいております。作品と投稿者名（地区は除く）をご紹介しますので、ペンネームでのご紹介をご希望の方は必ず記載してください

おたより

【３月号の記事について】

●女性部の冬期活動。多くの女性部の人たちのつながりを感じました。このつながりを大切に、明日への活力につなげて地域のきずなも深まることと思いました。より一層の活動を楽しみにしております。
／大森　Ｙ・Ｔさん（71）

●女性部の活動を見て長い冬、雪の中、家の中だけでなく楽しみに手先、頭を使うこと、とても素晴らしいと思います。笑顔が美しいです。
／大雄　Ｙ・Ｇさん（66）

女性部の活動にたくさんのおたよりをいただきました。本当にありがとうございます。皆さんのいきいきとした笑顔と活動に元気をもらいました。

●野菜づくりを頑張ってみたいと思い、営農ワンポイントのページを見ています。本当に初心者なので初心者なりに野菜をつくってみたいです。
／雄物川　Ａ・Ｋさん（54）

初心者の方も、ベテラン生産者の方も教科書として使っているという声が聞かれます。野菜づくりの参考にしていただければ幸いです。

●アグリリポートの写真を見てあんなに、しいたけが綺麗に栽培されていることに驚きました！高校生の方の表情を見るだけでも感動が伝わってきますね。
／増田　Ａ・Ｍさん（33）

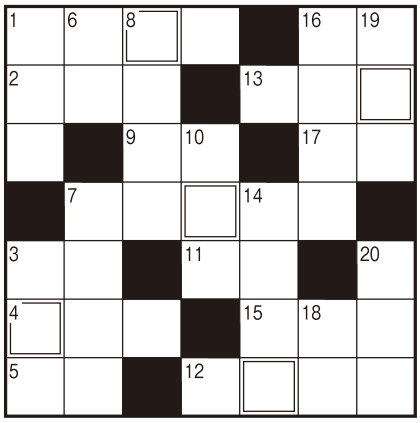
高校生の皆さんは、当ＪＡの主力産品である、しいたけのＰＲに大いに貢献してくれました。これからも若い世代の農業に対する声を届けられるよう努めてまいります。

●たくさんあるカボチャをどうしようか考えていました。レシピ、早速作ってみたいです。
／平鹿　Ｋ・Ｋさん（68）

カボチャのプリン、とても手軽にできて、おやつにぴったりですね。今月号からご要望にお応えしてレシピのコーナーを拡充しました。読者の皆さまからもおすすめのレシピを募集しています。我こそは料理自慢、という方！担当が取材に伺いますのでご一報ください。お待ちしております。

管内の風景写真や自慢の逸品、珍品野菜など、みなさんの「作品」を募集しています。ご応募は当ＪＡホームページにある専用フォームからお寄せ下さい。（携帯からは、以下アドレスへ）掲載者には、素敵なプレゼントを差し上げます。
メール【wg-koho@akita-furusato.or.jp】

クロスワードパズル



【解き方】全部の問題を解き二重枠の文字を並べ替えると一つの言葉ができます。それが答えです。

タテのカギ

1　危険を感じると切って逃げるトカゲもいます
3　鶏の頭に付いています
6　腕に――をかけて料理を作った
7　ビールの原料によく使われる穀物
8　ホーホケキョと鳴きます
10　スピードを上げること
14　日本風の料理のこと
16　話し声が周囲にすっかり漏れている状態
18　緊張したときにゴクリと飲み込む
19　髪をとかすのに使います
20　この上で白い石と黒い石が戦います

ヨコのカギ

1　4月29日は国民の祝日、――の日です
2　さおやリール、浮き、糸など
3　ななつ、やっつ、ここのつ、――
4　お坊さんの作業着　それ以外の人も普段着として着ることがあります
5　玄関や金庫の扉に掛けるもの
7　山菜をたくさんもらったので、隣近所へ――した
9　えんぺらがある生き物
11　髪をとかすのに使います
12　チョークで字や図を描きます
13　時代劇の俳優はたいてい頭に着けています
15　――のクローバーは幸せを呼ぶそうです
16　真珠を数えるときに使う言葉
17　琵琶湖の――はオオナマズ？

カラフルスマイル
シリコンスチーマーM
（グリーン）
3名さまにプレゼント！

電子レンジで手軽に
蒸し野菜や煮物など
の料理ができます！

※クロスワードパズルの各マス目の解答は、当ＪＡホームページでご確認いただけます

●応募方法　※川柳もこちら！

【応募方法】
ハガキに ①答え ②住所 ③氏名（当選発表時にペンネームが必要な方は別途記載してください） ④年齢 ⑤電話番号 ⑥当誌を受け取った場所 ⑦今月の好きな記事とその理由 または、当誌やJAへのご感想をご記入の上、下記までご応募ください。なお、お寄せ頂いたご意見は「お手紙」のコーナーにてご回答させて頂く場合がございます。（①～⑦の項目は必須となります）
【応募先】
〒013-0036横手市駅前町6-22 JA秋田ふるさと総務課・広報担当（※応募はホームページからでもOK。トップページの「みなさんの声と作品をお寄せ下さい！」バナーをクリック！）
【締　切】
4月25日（月）当日消印有効

1モ	6モD	■	9ソ	ク	13タ	17ツ
2チ	ン	レ	ツ	■	14イ	チE
3ツ	メ	■	10ギ	12ボ	シ	■
キ	■	8ヒ	ヨA	ウ	■	18ト
■	7ミ	ト	ウ	■	15オ	リ
4モB	ミ	■	11シ	ン	ジ	ユ
5ウ	ズ	マ	キ	■	16ギC	フ

■ 3月号の答え／ヨモギモチ
■ 当選者
P.N.A・Mさん（増田）
照井洋子さん（大森）
P.N.ミューのママさん（雄物川）
■ 応募総数／63通
■ 正解者数／62通

遠藤邦夫前代表理事専務が特別功労表彰を受賞しました

ＪＡ全中は３月４日、2015年度の農業協同組合功労表彰者への表彰を行いました。本県から特別功労表彰者として米森萬壽美ＪＡ秋田中央会副会長（中央）、功労表彰者として伊藤正照ＪＡ秋田おばこ代表理事（右）、遠藤邦夫ＪＡ秋田ふるさと前代表理事専務（左）が表彰されました。

退職者のお知らせ

下記の職員が退職いたしました。長い間お世話になりました。　【３月31日付】

佐藤　純一	総務部付　総務課 嘱託職員として再雇用
藤屋久美子	総務部付　金沢支店 嘱託職員として再雇用
藤田　昭一	総務部付　横手営農センター(山内資材店舗)
柿崎　慎悦	総務部付　園芸果樹課（専任指導） 嘱託職員として再雇用
照井　　明	総務部付　平鹿営農センター
渡部　　優	総務部付　大雄営農センター
泉　　清一	総務部付　福祉課
佐藤　悦子	総務部付　総務課
笹山　幹子	総務部付　山内支店 嘱託職員として再雇用
平元　敬喜	総務部付　雄物川営農センター 嘱託職員として再雇用
中嶋　偉隆	総務部付　融資管理課
柿崎　敬恒	総務部付　監査室
山本　敏夫	総務部付　米穀畜産販売課 嘱託職員として再雇用
丹尾　喜康	総務部付　米穀畜産販売課(専任指導) 嘱託職員として再雇用
阿部　英男	総務部付　増田支店
齊藤　　寛	大雄支店支店長補佐
菊池　希望	大森支店

以上17名

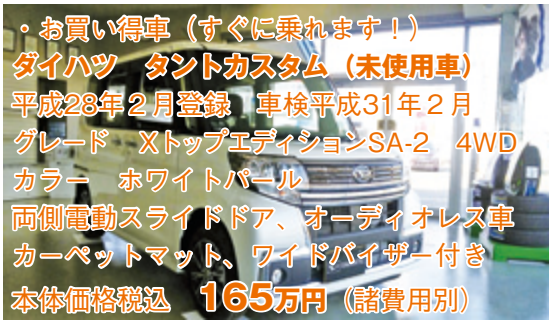
横手税務署からのお知らせ

平成27年分所得税・消費税の振替納付日は次のとおりとなっています。

所得税　平成28年４月20日（水）
消費税　平成28年４月25日（月）

振替不能を防止するため確定申告書をご確認の上、振替口座残高の事前確認をお願いします。

㈱ふるさとオートランドから【特選車情報】のお知らせ



【お問い合わせ】㈱ふるさとオートランド
住所／横手市安田字堰端96
電話番号／0182-33-5995

居宅介護支援事業所「ケアプランセンター旭」を新設しました

ＪＡ秋田ふるさとは３月15日、横手市旭地区に居宅介護支援事業所「ケアプランセンター旭」を新設しました。ケアマネジャー５人体制で介護支援の充実を図ります。まずはお気軽にお電話ください。

【業務内容】介護に関するご相談、ケアプランの作成、サービス事業所との連携・調整など
【お問い合わせ】ケアプランセンター旭
住所／横手市猪岡字水上74-16（旧旭支店）
電話番号／0182-23-8639

理事会だより

【臨時理事会】

平成28年3月7日開催
議案（抜粋）
■第19年度（平成28年度）事業計画の策定について
■地域農業振興計画並びに経営3カ年計画の策定について
■臨時総代会並びに提出議案について
報告事項（抜粋）
■平成27年度資産自己査定（仮査定）結果について
■平成28年度監事監査計画について

出席理事数30名（32名中）

【第12回定例理事会】

平成28年3月30日開催
議案（抜粋）
■平成27年度固定資産グルーピングの変更について
■総代選挙事務担当者の指名及び投開票場所の指定について
報告事項（抜粋）
■金融専任渉外担当体制の導入について
■太平物産㈱偽装肥料に係る対策本部の解散について

出席理事数32名（32名中）

【4月の主要行事予定】
28日定例理事会

理事会メモ

●議案第9号「平成28年度水稲育苗センター利用料金の設定について」において、1箱当りの単価が前年度と同額とすることが承認されました。

（税込）

区分	配達	自己取
出芽苗	525円	482円
緑化苗	547円	504円
硬化苗	699円	656円

【組合員のみなさまへ】

ＪＡ組合員資格のご確認をお願いいたします

当ＪＡの組合員の皆さまにつきましては、組合員資格等（資格・氏名・住所・電話番号）の変動が生じた場合、定款第14条の定めるところにより、速やかに書面でお届けいただくことになっております。

組合員資格等に変動がございましたら、大変お手数をおかけいたしますが、最寄りのＪＡ各支店において組合員資格等の変更のお手続きをいただきますようお願いいたします。

ＪＡ組合員資格チェック項目 ☑

いずれかに該当する方が「正組合員資格」を有する方です。

- □ ３ａ以上の土地を耕作する農業を営む個人で、その住所または経営にかかる土地や施設が当ＪＡ管内にある
- □ １年のうち60日以上農業に従事する個人で、その住所または従事する農地にかかる土地や施設が当ＪＡ管内にある
- □ 農業を営む法人（その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、資本の額または出資の総額が３億円を超える法人を除く）であって、その事業所または経営にかかる土地が当ＪＡ管内にある

これまで正組合員だった方で、上記のいずれにも該当しない方は、「准組合員」への組合員資格変更お手続きが必要となる可能性があります。また、現在准組合員の方で上記いずれかの要件を満たしている場合は、「正組合員」への資格変更のお手続きが必要となる可能性があります。なお、准組合員資格の条件等につきましては、多岐にわたりますので、上記内容を含め、詳しくは最寄りのＪＡ各支店までお問合せください。また、組合員の相続加入手続きは、相続開始後60日以内にお手続きくださいますようお願いいたします。

ふるさとの民話

座敷わらし

●再話／中川文子　●画／佐々木愉美子

昔むがし、ある村さ資産家の家があったけど。ある日、其家の婆様が茶釜さ湯っこでっちり入で、畑で稼いでいる家の者さ昼飯届げに出掛げだけど。途中まで行ったば、「婆様、婆様」って声したけど。「誰だべ」ど思って辺りキョロキョロど見回したども誰も見当だらねゃけど。空耳だど思って畑さ向がったば、「婆様、婆様、腰曲がって、ご大儀だなや」って、まだ声するなだけど。婆様、誰が自分どさ声掛げでるなだべど足止めで辺り見回したども、やっぱり誰もえねゃけど。婆様、「こった物、なっちょねゃ」って歩ぎ出したども、あんまり重でゃして「本当は、この年で切ねゃども仕方ねゃべ」って、ボソボソど独り言言ったけど。したば、何処がらがピョコンと童子が出できて「婆様、俺ら持ぎゃでける」って言って、婆様の手がらこだしと茶釜取って、デンデンど歩ぎ出したけど。その、早やごど、早やごど。婆様、「何処の童子だべ。近辺で見がげねゃ童子だ。我家の畑、知べだべが」って心配になって、早急めがして畑さ向がって行ったど。畑さ着いだば、隅っこさこだしど茶釜、置いであるけど。それ見で、安心して家さ戻ったど。昼飯食ってごろんと横になったば嫁っこが戻って来て、「婆様、婆様、呆げだなだが。こだしさ握り飯は入ってねゃし、茶釜も空っぽだけしゃ」って高声上げだけど。婆様、「やっぱりあの童子、座敷わらしだったんだな」って思ったけど。

皆んな寝静まった頃、ドシンドシンど奇妙な音するけど。婆様、気のせいだど思って枕直して寝だば、「婆様、枕やめで手枕にせえ」って声するけど。寝だふりして薄目してだば、七つ八つばしの童子五人して枕投げしてだけど。「座敷わらしたちだ」ど思って、頭から布団被って寝だど。

次の朝、嫁が馬っこ引いで草刈りさ出掛げだど。馬っこ、ヨダレ垂らしながら、のたりくたりど嫁の後付いでくるけど。「草刈りさ行く前に、川で馬っこどご洗ってけれ」って誰がが言うけど。嫁は「ハイ」って返事はしたども、山さ向がったけど。したば、七つばしの童子出できて、「お前なば返事ばしだ。お前の家は、馬が稼ぐがら裕福だなだ。その馬、粗末にせば罰当だるど」って言うけど。

座敷わらしは金持ちの家さ棲んでで普段は姿見せねゃども、姿見せるえなれば、その家の身上は下り坂なんだど。

とっぴんぱらりのぷう

ＪＡの概況　Situation

組合員数	17,530人
（正組合員）	13,167人
（准組合員）	4,363人
貯金	875億7329万円
貸付金	310億5595万円
購買品供給高	51億2726万円
販売品販売高	167億7466万円
共済保有高（保障）	4522億8621万円

（2016年2月29日現在）

編集後記

3月の人事異動で新たに（き）さんが広報担当として配属になり、2ヶ月間の孤独な広報活動に終止符が打たれました。多方面の方々にご迷惑とご心配をお掛けして申し訳ございませんでした。また、たくさんのご協力に深く感謝申し上げます。さて先日、知り合いの親子と家族対抗リレーを行いました。年甲斐もなく夢中になり、とても楽しかったです。その親子は、家族で一緒に遊ぶことをとても大切にしています。その姿勢に自分もそうでありたいと感じさせてくれる良い家族です。（か）

4月号より広報を担当させていただいております、（き）と申します。広報担当になったことで、周囲の方々から叱咤激励をいただき、恵まれた環境で仕事ができる喜びを日々噛みしめております。ところがある日、壁が立ちはだかりました。取材に向かう道中、広報の先輩である、（か）さんから思わぬことを尋ねられたのです。「あなた、雨女？」―ハッとさせられました。お気付きの方もいらっしゃるかと思いますが、そうです。早々にご迷惑をおかけしております。そんな雨女の私ですが、皆さまにとって分かりやすい誌面づくりに尽力いたしますので何卒よろしくお願い申し上げます。（き）

JA通信 ふるさと
発　行／秋田ふるさと農業協同組合
企画・編集／総務課 〒013-0036秋田県横手市駅前町6番22号
印　刷／㈱全農ビジネスサポート秋田支店
TEL／0182-35-2630
FAX／0182-35-2701
E-mail／fu.staff@akita-furusato.or.jp
VEGETABLE OIL INK

秋田ふるさと　検索
検索サイトでＪＡのホームページに簡単アクセス！